進路指導部通信・進学編
月刊　羅 針 盤　12 月号
～誠実・気魄・寛恕・創造～
鹿児島県立種子島高等学校　［平成 30 年 12 月 20 日発行］

１２月になりようやく冬らしい寒さになりました。手洗いうがいやマスクを着用するなど，互いに体調管理に気をつけて勉強に励みましょう！

大学入試センター試験まで あと 30 日

３年１組は１月 19 日（土）20 日（日）にいよいよセンター試験に挑みます。
３年間努力してきたことを全て出し切り，合格へつなげてほしいと願っています。
以下は受験に向けてのアドバイスです。

① 本番まで受験生の力は伸びる！

東進のデータによると，この時期からセンター試験の本番までに国公立大学合格者の 53.4%が最後の模試に比べて１日１点以上の伸びをみせているそうです。ということはあと 30 点は伸びる。１日２点伸びていけば 60 点伸びる。３点伸びていけば・・・と取らぬ狸のなんとやらと思うかもしれまんが，過去の先輩達もセンター試験本番まで努力を続け，模試では １ 回もとったことのない９割を得点したり，自己ベストの点数を出したりしました。

「諦めない者が最後は勝つ！」だと思います。

② 落ち着いて試験を受ける

センター試験対策と全く傾向が違ったり，難易度が変化したりすることはよくあります。当たり前と思っておきましょう。慌てずに問題文をよく読み，何が問われているのか，今まで解いた問題と同じ考えが使えないかよく考えてください。新傾向の問題は後回しにして，できる所からやりましょう。会場にいる受験生は自分よりやたらできる人に見えます。

参考書を見ている人がいると，なぜか気持ちが焦ります。そんなときは魔法の言葉を唱えましょう。
「よそはよそ，うちはうち♪」と声をかけ合おう。

③ マークシートの記入を確実に！

マークミスをすると今までの努力が水の泡となります。指定の濃さの鉛筆を使用し,記入漏れ,ズレがないか,消し方が雑でないか,直前の演習ではマークシートを実際に使って時間を計り演習しましょう。勝手が違うと 100%の力を発揮できません。

塗りつぶしてマークすることも大切な練習です。

④ 終わったことを引きずらない

試験が終わるたびに友人と答えの確認をするのはやめましょう。正解でも不正解でも次の試験には何のプラスにもなりません。次の試験に向けてノートや参考書を見るほうが良いです。
また，１日目の疲れを２日目に持ち越してはいけません。出来が良くても悪くても平常心で２日目に挑んでください。気持ちを引きずりやすい人は深呼吸して

「チャンスはまだある。切り替えよう！」と考えよう。

冬休みは１・２年生が 進路を考える良い機会

冬休みは，県外から帰省してきた親戚や兄姉と話をする良い機会です。なぜその職業についたのか,どんなやりがいがあるか,大変なことは何か,なぜ進学したのか，学校生活はどのようなものか，高校時代はどのように過ごしていたかなど，たくさん質問してみましょう。実体験を聞くと資料では分からない貴重な情報が得られます。今まで知らなかったことを知ることにより，**進路選択の幅が広がる**はずです。
積極的にたくさんの人と話をしてください。

《 １月の進学関係の行事 》
１月 19 日（土）20 日（日）１,２年進研記述模試
※ １年生は 19 日のみ